

千葉県 地域連携のススメ

(地域学校協働活動ボランティアより)



第28号 「地域学校協働活動の紹介」及び「令和6年度 各種研修会の開催予定」等
令和6年3月15日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会

千葉県では、学校と保護者や地域住民等の関係者で目標やビジョンを共有し、学校の運営とそのために必要な支援について協議するコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組により、学校と地域が力を合わせて子供たちの成長を支える「地域とともにある学校づくり」を推進しています。

今回は、「地域学校協働活動推進員研修講座3期」で実践発表をいただいた、2つの自治体の地域学校協働活動と令和6年度の各種研修講座等について特集していきます。市町村での研修会や今後の地域学校協働活動の参考にさせていただく等、効果的に活用していただきたいと思います。

※地域学校協働活動とは、教育活動や放課後子供教室などの活動において、地域住民などの参画により、子供たちの多様な学びや体験を支援する活動です。例として以下のようなものがあります。

○学びによるまちづくり・地域課題解決型学習・郷土学習
・地域（地域資源、産業、郷土芸能等）について、地域住民から学んだり、自ら調べ発表したりする活動

○学習に対する多様な協力活動
・登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、読み聞かせ、授業補助等の活動

○放課後子供教室
・地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動

地域学校協働活動（第3期研修講座 令和6年1月30日オンライン開催）の紹介

長南町地域学校協働本部の取組

3名の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）とインストラクター、約90名のボランティアで活動をしています。

長南町地域学校協働本部は、「人とつながり、地域とつながり、次代へつなげる長南の教育」という町教育基本理念のもと、見守り活動や放課後子供教室等はもちろん、町の伝統文化や産業について学ぶ「郷育」のサポート等をおして、学校と地域が連携・協働しています。また、「できる人が、できる時に、できることをやる」を合言葉に、緩やかな組織として継続的な取組を行っています。

コーディネーターが、実際に学校の要望等を把握した上で内容の企画・立案、地域人材とのマッチング、次の活動に向けての振り返り等を行うなど、PDCAサイクル（Plan 計画→Do 実行→Check 評価→Action 改善）で活動をすることで、継続的かつ質の高い取組となっています。



【「郷育」古代米づくり】



【手作りの森の図書館】



【ボランティア交流会】

【参加者の声】

- ・竹の花器作り、稲作体験など地域の特性を活かした地域と学校の協働活動に感動しました。何より参加する子供たちや協力する地域の人たちの笑顔が素敵でした。「つながる一む」の取組は参考にさせていただきたいと思いました。
- ・自然に囲まれた町で、特色を生かした活動が学校・子供教室で行われていて素敵だと思いました。また、ボランティアの人数も多く、驚きました。広報等、広く活用していくことが大切だと感じました。

○県内の地域学校協働本部では、こんな活動をしています！

- ・登下校見守り（交通指導）
- ・地域でのあいさつ運動
- ・学習支援ボランティア
- ・伝統芸能指導
- ・コミュニティ・カレンダーの作成（学校行事、地域行事等記載）
- ・資源回収
- ・音楽指導
- ・学校行事補助
- ・環境整備（花壇、校舎内等）
- ・読み聞かせ…等

（「R5実績報告より」一部抜粋）

習志野市放課後子供教室の取組

同一の小学校内等で、放課後児童会（放課後児童クラブ）と連携して、すべての児童が放課後子供教室のプログラムに参加ができる「校内交流型（一体型）」で実施をしています。

学習や工作等の制作活動、夏祭りやハロウィン等の季節行事といった多様な体験活動を行っており、市主催の行事等にも参加するなど地域住民との交流も行っています。

また、アンケートによる満足度調査を実施し、保護者のニーズを把握することで、より充実した居場所・活動になるよう努めています。



【壁画作り】



【サイエンスショー】



【リクガメとのふれあい】

【参加者の声】

- ・ボッチャや、お絵かき教室など、色々なプログラムを提供しており、ボランティアの方々が活発に活動していることがわかりました。
- ・子供の居場所作りに力を注いでいるなどと思いました。子供の居場所作りと共に保護者への不満解消にも取り組んでいるところが素晴らしいと思いました。

○県内の放課後子供教室では、こんな活動をしています！

- ・工作教室
- ・お琴
- ・ヨガ教室
- ・スポーツ鬼ごっこ
- ・ハイキング
- ・絵画教室
- ・華道
- ・けん玉
- ・しめ縄づくり
- ・郷土学習
- ・よさこい鳴子踊り
- ・トランプ
- ・学習支援
- ・ハーバリウム教室
- ・理科実験教室（サイエンスショー）
- ・スカッシュ…等

（「R5実績報告より」一部抜粋）

令和6年度研修講座等の予定

期	日時	内容	開催方法
1	5月31日(金)午前	・制度や仕組み、コミュニティ・スクール（CS）との一体的推進について学ぶ	オンライン
	6月20日(木)午前 午後	・地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の役割やコーディネート の技能・手法について学ぶ ・座談会…参加者の要望に応じて意見交換を行う。（希望者）	
	9月6日(金)午前	・具体的な実践例をおして、実際の地域学校協働活動推進員（地域 コーディネーター）の取組について学ぶ	
2	10月～12月	・地域学校協働本部及び地域学校協働活動（放課後子供教室）の参観を とおして具体的な実践について学ぶ	現地 視察
3	令和7年 1月30日(木)午前 午後	・事例をもとに地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の活動に ついて話し合い、これからの役割や取組について考える ・座談会…参加者の要望に応じて意見交換を行う。（希望者）	オン ライン
	・コミュニティ・スクール研修会 8月21日(水)午後 ・放課後子供教室指導スタッフ等研修会 9月20日(金)午前		

※ 各種研修講座（研修会）の日程及び内容については、変更する場合があります。

※ 申込み等の詳細については、千葉県HP、県立学校及び各市町村教育委員会を通じて周知いたします。



学びの未来

「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動」についてもっと知りたい方
（文部科学省・こども家庭庁合同ホームページ）
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL:043-223-4069 メール: kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県 地域連携のススメ

(地域学校協働活動ボランティアにより)

第27号 コミュニティ・スクールの導入状況及び各種研修講座の様子について
令和6年1月31日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

千葉県では、コミュニティ・スクール¹⁾の導入により、地域学校協働活動²⁾を一層効果的に進め、地域とともにある学校づくりを推進しています。

今回は「コミュニティ・スクール等の導入状況」や「推進に役立つコンテンツ」、「県主催で開催した各種研修会」の様子について特集していきます。

- 1) コミュニティ・スクール…学校の運営とそのために必要な支援について協議する「学校運営協議会」を導入した学校。略称CS (Community School)。
- 2) 地域学校協働活動…学校における日々の教育活動や、放課後子供教室などの活動において、地域住民や専門的知見のある企業・団体関係者などの地域人材等の参画により、子供たちの多様な学びや体験を支援する活動。(登下校の支援、学習支援など)

令和5年度 コミュニティ・スクール及び地域学校協働本部の導入状況

【令和5年5月1日現在（政令市は除く）】 ※（ ）は令和4年度比

	コミュニティ・スクール		地域学校協働本部	
	設置校	設置率	設置校	設置率
県全体	391校(+178校)	33.1%(+15.3P)	828校(+97校)	70.1%(+ 8.6P)
市町村立学校	348校(+157校)	34.0%(+15.4P)	661校(+99校)	69.7%(+10.7P)
県立学校	43校(+ 22校)	26.9%(+13.8P)	160校	100%

令和5年11月末に文部科学省より公表された、令和5年度の導入状況です。県全体で見ると、昨年度と比べ、コミュニティ・スクールでは178校増、地域学校協働本部では97校増という状況です。今後、更なる増加が見込まれており、導入が加速することが予想されます。

設置に向けた相談等がありましたら、今年度より千葉県教育委員会生涯学習課学校・家庭・地域連携室内に設置された、「CSサポートセンター (TEL 043-223-4069)」まで御連絡ください。

人材発掘や研修会等で役立つコンテンツの紹介



地域学校協働活動推進員発掘チラシ

学校と地域を結ぶ役割を担う地域人材の発掘・確保に向け作成したチラシです。本チラシの活動例は以下のとおりです。

- ・教育委員会や各学校において、直接、本チラシを活用し、コーディネーターの依頼をする。
- ・本チラシを教育委員会や市役所、公民館、各学校等において、掲示又は配布し、広く地域人材を募集する。

こちらのチラシは二次元コード又はURLより、ダウンロードすることができます。

ぜひ、ご活用いただくと幸いです。



<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/chiikitotomoni.html>

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に関する研修動画



令和5年8月25日に開催した「コミュニティ・スクール研修会」における、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に係る実践発表動画です。県内の多くの先進事例や設置への段取り、制度の活用方法などについての内容となっております。

ぜひ、研修会等で活用してみたいはいかがでしょうか。

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-d/downloadForm/downloadFormList_detail?tempSeq=27635

各種研修会の様子

地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座〈全3期〉

学校と地域を結ぶコーディネーターを育成するために、全11回を1期から3期に分けて実施しています。1期及び3期は、経験豊富な講師による講義やグループワーク、座談会等の参加者同士のネットワークづくり、2期は現場視察等の実践的な研修を行っております。すでに実施した1期（全3回）では計219名、2期（全7回）では計79名と多くの方々にご参加いただきました。

【1期 第3回 具体的な実践例をととして、実際の地域学校協働活動推進員の取組について学ぶ 9/7 実施】

オンライン
研修の
質疑の様子



【参加者の声】

○地域学校協働活動推進員

それぞれの地域に、オリジナルの協働活動があるということを感じられました。自分の地域に今一度目を向けて、地域や推進員の方々とコミュニケーションをとりながら、出来る事に一歩ずつ取り組んでみようと思いました。

○地域コーディネーター

コミュニティ・スクールとしての活発な活動に驚きました。また、児童の自主性や興味関心が高く、それに対するボランティアの方の対応や流れが確立しているところが重要だと感じました。

文部科学省CSマイスターの前川浩一先生から、長野県大田市美麻地区の地域学校協働本部の実践についてお話いただきました。実践をもとに、グループで協議したり、今後の活動について考えたりしました。

【2期 八千代市 高津・緑が丘地域学校協働本部 11/29 実施】

【参加者の声】

○行政職員

本市とは一味違った、地域学校協働本部の体制に感銘を受けました。本市では、既に全小中学校でコミュニティ・スクールをスタートさせています。今日学んだ多くのことを各学校にアドバイスしていければと思います。

○教職員

本校では、コミュニティ・スクールが今年度から導入されましたが、あまり展開されていません。活動を展開していくにあたり、地域学校協働本部がしっかりと設置されていることが重要だと感じました。



本部が協力して、防犯教室を行っている様子

小学校5校、中学校2校で組織された、広域型の地域学校協働本部です。統括コーディネーターを配置したり、退職した校長先生方に組織に入ってもらったりするなど、特色ある活動を展開しています。

「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会 9/22 実施

【我孫子市による発表

あびっ子クラブの様子】



文教大学の青山 鉄兵 先生から「運営の基本的な考え方」について、オンラインでアプリを活用し、受講者との対話をしながら御講演いただきました。実践発表では、我孫子市子ども部の高橋 晃 様から、取組状況や運営面での課題等について御発表いただき、大変充実した研修会となりました。

【参加者の声】

○放課後子供教室コーディネーター

我孫子市の実践は理想だなと感じました。行政の方と共有しながら、できることから一歩一歩取り組んでいきたいです。

○行政職員

学校や家庭とはちがう繋がりを持てる場所という話から、放課後子供教室という居場所が、子供たちのためになっていることを改めて実感できました。



「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・こども家庭庁合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室

TEL:043-223-4069

メール: kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp

千葉県 地域連携のススメ

(地域学校協働活動ボランティアだより)

第26号 文部科学大臣表彰受賞校及び地域学校協働活動の紹介等

2023年2月27日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県では、学校と地域住民や保護者等が、学校に必要な支援等について協議するなどして目標を共有し、力を合わせて学校運営に取り組む学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入により、地域学校協働活動を一層効果的に進め、地域とともにある学校づくりを推進しています。

今回は『「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰』と「地域学校協働活動（学習支援：地域未来塾）」を特集していきます。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰について

この表彰は、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを進め、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指すことを目的に、学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。

2月3日に「表彰式」及び「地域とともにある学校づくり推進フォーラム2022アワード・全国公民館研究フォーラム」が行われ、千葉県からは2校の取組が受賞となりました。そのうち、県立飯高特別支援学校については、「組織体制を活かした学校運営協議会の効果」が評価され、フォーラムにおいて、渡辺校長先生が実践発表を行いました。実践発表の様子と令和4年度に受賞された2つの取組を御紹介します。



地域とともにある学校づくり推進フォーラム2022アワード・全国公民館研究フォーラム開催

実践発表

県立学校における効果的な学校運営協議会
～地域の課題を教育資源に～

フォーラムは文部科学省（オンライン配信あり）で行われ、県立飯高特別支援学校の渡辺校長先生が「地域の課題を教育資源として、児童生徒の自己肯定感を高めている取組」について発表しました。



受賞校① 飯高特別支援学校 学校運営協議会(地域学校協働本部)(県立学校)

【学校運営協議会】

本校の学校運営協議会は、地域の代表や学校、福祉関係者等で構成され、学校運営協議会の委員の3名が地域コーディネーターを兼務している。3つの部会に分かれ、地域の教育資源や人材の活用、地域交流の充実等について意見を出し合い、様々な角度から協議している。



<学校運営協議会の様子>

地域の課題を教育資源に



<避難所開設訓練の様子>

【地域学校協働活動】

「学校の教育活動の充実と地域の活性化」に向け、「地域美化活動」「高齢者福祉活動」「地域防災活動」「地域広報活動」などに取り組んでいる。児童生徒には、地域の方と関わる中で、自己有用感や自己肯定感を高めていってほしいという視点を大切にしている。

【一体的推進】

地域美化や高齢者福祉、地域防災、地域広報等の地域の課題を教育資源として活用し、課題解決のために学校と地域が協働した取組が効果的に展開されている。

※2校の取組については、「県教委ニュース（3月号）」にも掲載予定です。

受賞校② 菅野小学校 学校運営協議会(第二中ブロック地域学校協働本部) (市川市)

第二中ブロック(中学校区)・・・第二中学校・菅野小学校・真間小学校・須和田の丘支援学校

【学校運営協議会】

本校の学校運営協議会は、学校と地域のつなぎ役である地域学校協働活動推進員、自治会役員や学識経験者等、多様な委員により構成され、「児童の安心・安全」の視点を持ち、地域での児童の様子や危険箇所について情報交換を運営協議会でその都度行っている。

地域で連携した通学路の見守り

～みまもりたい♡による地域の安心・安全向上への取組～



<学校運営協議会の様子>



<登校見守りの様子>

【地域学校協働活動】

学校運営協議会における「地域での児童の様子や危険箇所についての情報交換」「安全教育の充実」などの協議の結果を踏まえ、「地域の見守り活動」「コミュニティマップの作成・配付」等の地域学校協働活動が、中学校ブロックを一つの地域として展開されている。

【一体的推進】 地域の安全や児童の学びの充実等の課題解決に向けて、保護者・学校・地域が協働して効果的な取組が展開されており、学校運営の改善・強化につながっている。

地域学校協働活動（学習支援：地域未来塾）の紹介

地域未来塾とは？

中学生等を対象とした、教員OBや大学生など地域住民等の協力による原則無料の学習支援です。

浦安市（青少年自立支援未来塾）の取組紹介

対象：全浦安市立中学校在籍の生徒
教科：数学・英語
会場：市内の公民館
実施期間：6月～2月（月4回程度）
平日：午後6時30分～午後8時
登録生徒：190名程度
登録講師：50名程度（2教科合計）



参加者及び支援員の声(令和4年度)

- ・わからないときにすぐに質問ができるのが良かったです。（参加者）
- ・家庭学習等でわからないところがあっても、未来塾で質問することができるので勉強に対して、前向きになりました。（参加者）
- ・わかるようになって嬉しそうにしている表情が印象的でした。（支援員）
- ・自分で考えてからわからないところを質問する生徒が増えました。（支援員）

令和5年度 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座等開催予定

	日 時	ねらい 等	開催方法
第1期	5月30日(火) 午前	→制度や仕組み、意義について学ぶ	オンライン
	6月28日(水) 午前	→地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の役割やコーディネーターの役割について学ぶ、具体的な実践例について学ぶ	
	午後	→座談会：参加者の要望に応じて意見交換を行う。（希望者）	
	9月7日(木) 午前	→具体的な実践例をとおして、実際の地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の取組について学ぶ	
第2期	10月～12月頃	→地域学校協働活動の参観	現地視察
第3期	1月30日(火) 午前	→参観後をもとに地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）の活動について話し合い、これからの役割や取組について考える	オンライン
	午後	→座談会：参加者の要望に応じて意見交換を行う。（希望者）	
※コミュニティ・スクール研修会 開催予定日 8月22日(火)			オンライン
※新・放課後子ども総合プラン指導スタッフ等研修会 開催予定日 9月22日(金)			



「地域学校協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域連携のススメ



第25号 県主催の研修講座（研修会）の開催の様子について
2023年1月16日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会

人材育成・ネットワークづくり・力量アップのための研修講座を開催しました

千葉県教育委員会では、人材育成・ネットワークづくりのために、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、ボランティア、学校担当者、学校との協働活動に興味のある地域住民等（興味のある方はどなたでも参加可能）を対象に、「地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座」を開催しています。

今年度は、年間を3期に分けて、全11回の研修講座を開講しており、1期（制度概要、コーディネート基礎、実践例等の講義・実践発表・グループワーク）及び2期（地域学校協働本部による活動及び放課後子供教室の現場視察）の研修講座が、関係者の方々の御協力により無事に終了しました。

また、力量アップのために、放課後子供教室や放課後児童クラブ等の関係者を対象に、「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会を実施しました。

地域学校協働活動推進員研修講座＜2期 全7回＞現場視察

10～12月までの期間で、各教育事務所管内で行われた7か所の地域学校協働活動を参観させていただきました。延べ157名の方々に御参加いただきました。

【市川市 地域学校協働本部】10月12日実施

コーディネーターズカフェの開催



市川市には、学校教育を地域が支援する（従来の学校コーディネーター）からもう一歩進めて、地域の活動を学校も併せてコーディネートするためのネットワークとして「地域学校協働本部」があります。16の中学校区をブロックとして、統括的な地域学校協働活動推進員を1名、各校・園に地域学校協働活動推進員を2名配置し、活動しています。

研修講座には、市内各ブロックの多数の推進員の方々も参加し、活動の紹介や参加者の相談にのっていただきました。

【参加者の声】

- ・「コミュニティカレンダーの作成」や「コーディネーターズカフェを開催して先生方との交流、情報交換等の機会をつくること」など先進事例をたくさん聞くことができ、とても参考になりました。
- ・「地域には人材（財）はたくさんいる！知り合うことでつながる。つながると豊かになっていく」という言葉が印象に残りました。

【四街道市 地域学校協働本部】11月18日実施

地域の方を学習発表会に御招待



四街道市は、市全体を統括する「統括支援コーディネーター」を1名、小学校12校、中学校5校の全てに地域コーディネーターを1名ずつ配置しています。年に2回、地域コーディネーター会議を実施し、コーディネーター、学校関係者、教育委員会が情報共有をしながら活動を進めています。

今回は、山梨小学校で、学校支援活動の参観をしました。

【参加者の声】

- ・ボランティアとして活動することに喜びや充実感を感じていらっしゃる方々の姿を見て、『このような場をどんどんつくってほしい！』と思いました。
- ・子供たちがボランティアの方をしっかりと認識していて、信頼関係ができていることが素晴らしいと思いました。ボランティアの方もその中でやりがいを感じているように感じました。

【鴨川市 土曜スクール（放課後子供教室事業）】12月17日実施

福祉学習



様々なスポーツ体験活動



鴨川市では、「市内の小学生が安心して活動のできる場の確保を図ること」「活動を通じて次世代を担う青少年健全育成を支援すること」を目的に、「鴨川市土曜スクール」を開催しています。

地域の実情に合わせて、「タグラグビー」「ライフセービング」「サーフィン」「芋ほり」「ピザ作り」「押し花のハガキ作り」等の様々な体験活動が行われています。今回は、福祉学習とスポーツ体験学習の2つのスクールを参観しました。

【参加者の声】

- ・実際にどのようにスタッフを組織し、企画しているか理解することができました。
- ・子どもたちの生き生きとした様子や指導者の連携等から、学校教育以外の場所で人々が年齢をこえて学び合っている様子が分かり、素晴らしいかったです。

詳しくは、千葉県教育委員会
「地域学校協働活動推進員研修講座」
ホームページへ→
(1期・2期の開催の様子や3期の開催
案内を掲載しています。)



【地域学校協働活動推進員研修講座＜3期＞】
テーマ「参考事例から考える地域コーディネーターの役割について」
(内容：講義・実践発表・グループワーク等)
令和5年2月1日(水)開催(1月18日締切)
←←←詳細や申込みはこちらから

令和4年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会

9月22日(木)にオンラインにより、令和4年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会を開催しました。主な内容として、NPO法人AIKURUの村野裕子先生から「放課後子供教室と、こどもに関わる大人のまなざし」という演題での御講演と、酒々井町教育委員会から「酒々井町放課後子供教室の取組状況について」事例を発表していただきました。79名の方々に御参加いただきました。



【参加者の声（講演について）】

- ・村野先生の講演を拝聴し、魅力的な活動の数々に感動を覚えたと共に、実現のためには人材確保をはじめ様々な課題を乗り越えなければいけない現実を目のあたりにしました。現状実現が難しい活動もありますが、未来あるこどもたちのため、「こども教室」が将来的に持続していけるよう地域の方々と手を取り合いながら日々努力していきたいと思います。

【参加者の声（実践発表について）】

- ・地元の大学生の有志の方々が積極的に活動を展開されている姿に感動しました。年齢の垣根を越え、幅広い年代の方々が一丸となって子どもたちに寄り添うかたちがとても素晴らしいと思います。



←詳しくは、千葉県教育委員会
「放課後子供教室推進事業」ホームページへ



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp> **学び未来** で検索



【問い合わせ先】千葉県教育庁 教育振興部 生涯学習課 学校・家庭・地域連携室
TEL:043-223-4069 メール:kysho2@mz.pref.chiba.lg.jp

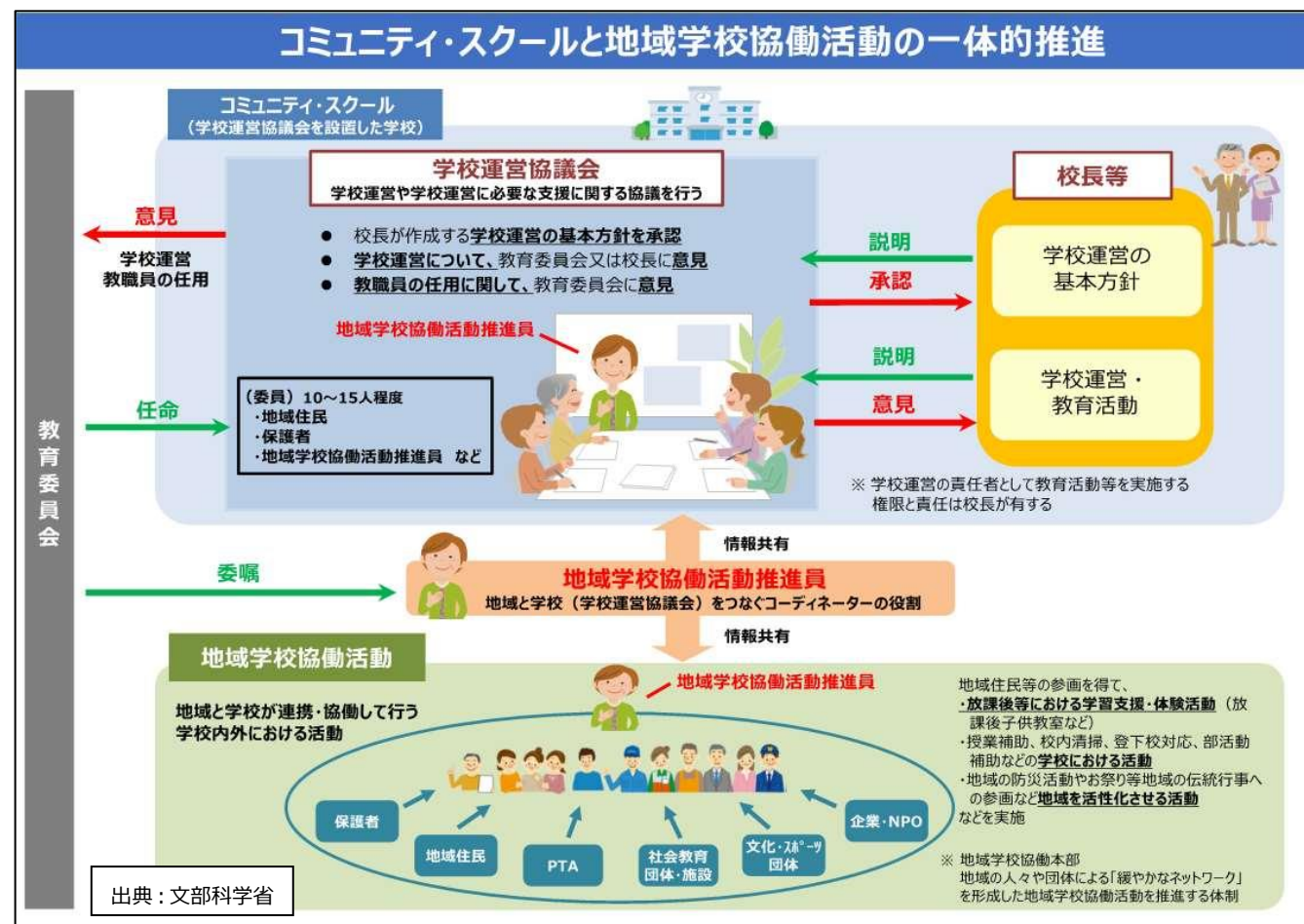
千葉県 地域連携のススメ

第24号 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
令和4年9月28日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

千葉県教育委員会では、学校の運営とそのために必要な支援について協議する「**学校運営協議会**」と**活動を行う地域学校協働本部**が連携した、一体的な取組の推進をしており、県立学校及び各市町村に対して、地域学校協働活動と「両輪」の関係を成すコミュニティ・スクール（CS）の導入を推進しています。



千葉県の方針（千葉県総合計画より）

学校における日々の教育活動や、放課後児童クラブ、放課後子供教室などでの教育活動において、地域住民や専門的知見のある企業・団体関係者などの地域人材等の参画により、子どもたちの多様な学びや体験を支援する地域学校協働活動を推進し、地域における教育の質の向上を図ります。

あわせて、学校の教育活動に地域住民や社会人が参画する機会を促進するため、地域コーディネーターなどの学校と地域を結ぶための人材の育成・拡充を図るとともに、活動に携わる人々の交流を促進します。

さらに、学校と地域住民や保護者等が、学校に必要な支援等について協議するなどして目標を共有し、力を合わせて学校運営に取り組む学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入により、地域学校協働活動を一層効果的に進め、地域とともにある学校づくりを推進します。

学び未来

「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は
（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）

<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来

で検索



千葉県の取組（人材育成、人材発掘に向けた取組）

コミュニティ・スクール研修会（8月23日火曜日 オンライン開催）

- 対象：教育委員会担当者、学校教職員及び学校運営協議会の委員、地域コーディネーター等
- 内容：先進事例を含めた制度説明を実施し、関係者の理解促進を図る。
- 講演：「CS及び地域学校協働活動の一体的推進に向けた取組について」
東京学芸大学 副学長 松田 恵示 氏

<参加者の感想>（400人を超える方々が参加しました）

- ・コミュニティ・スクールの意義や必要性について理解を深めることができました。
- ・地域の特性に合わせ、様々な立場の方々が学校運営のビジョンを共有し、また、そのプロセスが重要であると考えさせられました。
- ・講師の松田先生からコミュニティ・スクールの導入状況及び意義についてわかりやすく説明していただきました。生徒を中心として、教職員、保護者、地域住民が一体となって協働的に教育活動を進めていく組織体制を作ることの重要性を学びました。

千葉県内のコミュニティ・スクールの取組紹介

学校と地域のつなぎ役である**学校運営協議会委員**兼**地域学校協働活動推進員**（**地域コーディネーター**）が中心となって展開されている「**地域学校協働活動**」を紹介します。

学校の働き方改革につながっている事例

CS導入校の好事例

◎地域人材による**学校環境整備**で、教職員の負担軽減！

※委員（地域コーディネーター兼務）を中心とした、学校支援活動

【具体的活動（地域の方のみで実施）】

- ・池の掃除 ・プール清掃 ・校庭の整備
- ・机の高さ調整（児童が他の場所で活動している時に、地域の方が整備）
- ・学校の敷地内の草刈り ・花壇の整備
- ・災害時の倒木撤去（地域の方が重機を使って撤去）等

学校運営協議会で、学校が困っていることや地域の方々にお願いをしたいことを協議し、それまで教職員が行っていたことを地域学校協働活動推進員が橋渡し役となり、地域が代わりに担うことになった取組です。

教育活動の充実や地域理解につながっている事例

CS導入校の好事例

千葉県 県立高校の例

協議会に向けて、事前に職員から困りごとや、地域に求めることをピックアップ

就職試験に向け、「面接練習」をしてもらえないか

「就職先の見学」の機会をつくってもらえないか。

地域に「学校のポスター」を掲示してもらえないか。

学校運営協議会



「面接練習」や、「進路先の開拓」、あるいは広報のための交渉や、「ポスター掲示」などの業務を、**地域の方へ依頼**しています！

学校運営協議会に向けて、教職員から地域にお願いをしたいことをピックアップし、その内容を学校運営協議会で協議し、地域コーディネーターが中心となって地域住民や企業の方々に実際に面接練習や職場見学等を行ってもらおうといった取組です。

日々の取組の中で**学校運営協議会委員**兼**地域学校協働活動推進員**が大切にしていること

○県主催の研修会の実践発表でお話してくださったことの一部を紹介します。

地域学校協働活動推進員であり、学校運営協議会委員である私の役割は、学校教育の中に地域をコーディネートすること、学校と子ども達、地域の思いや気持ちをくみ取り、必要に応じて交通整理をしたり、活動につなげていったりすることだと考えています。

学校が抱えている課題や地域の思いを受けとめながら、子どもたちの未来のために活動をしてくださっていることに感謝するとともに、今後の取組の参考にさせていただきます。

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域連携のススメ

第23号 令和3年度地域学校協働活動推進員研修講座開催
2022年2月8日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



令和3年度地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）研修講座＜1期（4回）＞＜2期（7回）＞＜3期（1回）＞の計12回の全日程が終了しました。県内各地から**294名**の方が参加しました。研修講座の様子の一部を紹介いたします。（県教育委員会 HP に全講座分紹介しています。）

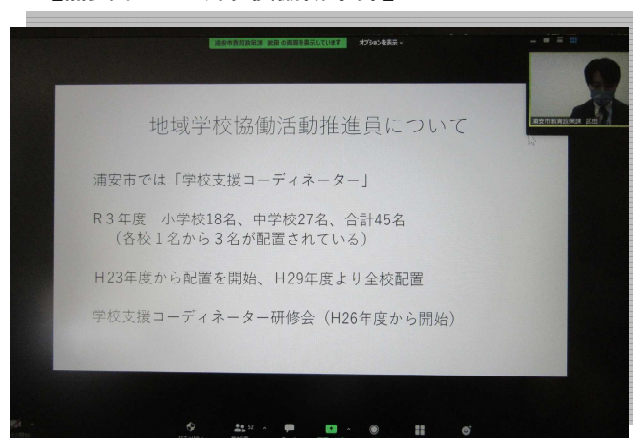
地域学校協働活動推進員研修講座＜2期＞活動事例の紹介



10月25日～12月10日まで各教育事務所管内で行われている地域学校協働活動の実践事例を紹介する研修講座が全7回開かれました。そのうちの3講座の様子を御紹介します。

浦安市の地域学校協働本部の活動の様子については、感染症対策の観点や多くの方が視聴できるというメリット等から、オンラインで実践報告や映像視聴を行いました。主にキャリア教育や漢字検定の実践発表をしていただきました。参加者同士によるチャットでの質疑応答やサテライト会場での参加者からの質問など、オンライン上で活発なやりとりが行われました。参加者からは「コーディネーターの具体的な動きが参考になりました」「仕事や子育ての合間に移動時間がなく、オンラインで参加できてよかった。」などの声をいただきました。

【浦安市 地域学校協働本部】11月25日実施



【鎌ヶ谷市立道野辺小学校 地域学校協働本部】11月30日実施



鎌ヶ谷市立道野辺小学校において、学校図書、ミシン、植物水やり、学習ボランティアの活動の様子を参観させていただきました。同校で活動している地域コーディネーターや学習ボランティアの方から、「先生方の苦勞を知り、学校とボランティアの間をつなぐ役割ができ、とても充実している」「子どもたちの笑顔が見られて、達成感がある」とのお話がありました。参加者からは「今学校が抱えている問題のいくつかはこのような地域の力を活用することで解決できると思いました。」「子どもたちに良い影響を与えている。」などの声をいただきました。この日は、鎌ヶ谷市内の全ての学校の担当教職員や地域コーディネーターも参加しました。

勝浦市立勝浦中学校において、お飾り作り体験の様子を参観させていただきました。勝浦市から「平成31年度に市に一つの本部を設置して、地域ぐるみで勝浦の子供を育てる組織体制を整備した。」「近隣の大学や青少年相談員、子ども会、PTA 連絡協議会等の代表者が運営委員となり、地域学校協働活動推進員が学校からの要望等を取りまとめて活動へとつなげている。」とのお話がありました。参加者からは、「自治体が主体となって学校と連携を図りながら、学校の要望に応えることが子どもたちの体験や学びにつながることを実感できました」「地域学校協働本部のネットワークについて非常に参考になりました。」などの声をいただきました。

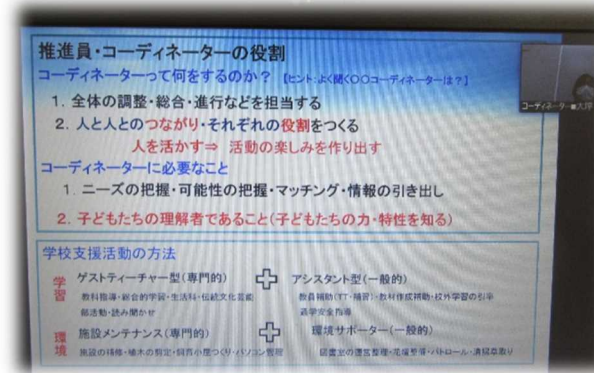
【勝浦市 地域学校協働本部】12月10日実施



地域学校協働活動推進員研修講座＜3期＞講義・実践発表・座談会

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった研修講座＜3期＞ですが、今年度はオンラインで1月28日に開催しました。午後はオンライン座談会を行い参加者同士が交流しました。

全国地域活動ボランティア活動総合推進センター 大坪 直子 コーディネーター 講義 【地域学校協働活動の推進に向けて】



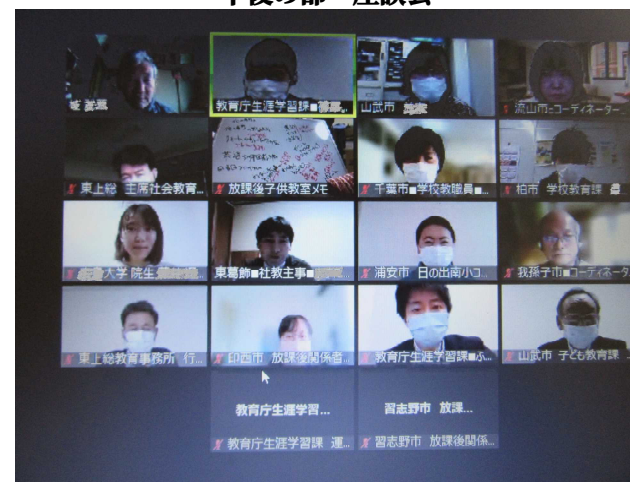
全国的に活動をされている大坪 直子コーディネーターを講師にお招きして、地域学校協働活動の必要性やその効果・事例等について御講義いただきました。「地域の課題を地域で考える」「地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えることで、地域のつながりを・・・」とのお話がありました。参加者からは、「大坪先生のご講演は大変興味深く、役に立ち、かつ意欲をかき立てられました。」「いろんな地域資源を活用し、子どもたちにとって楽しく住みたいと思える街にしていきたいと思いました。」「地域人材の発掘方法についてヒントを得ました。」などの声をいただきました。

匝瑳市の吉田小放課後子ども教室での絵合わせカードゲームやブーメラン作りなどの活動を紹介いただきました。参加者からは、「匝瑳市のブーメラン作りは簡単に出来そうなのでやってみたいと思いました。」「実際にどのような活動がされているのか具体的に実践を踏まえながら説明いただき、今後の参考となりました。」「施設外にでて行うイベントが出来ていないので、とても刺激を受けました。」などの声をいただきました。

放課後子供教室の実践発表（匝瑳市）



午後の部 座談会



他の市町村の方々と日頃の活動を紹介し合うことや日頃の悩みなどを気軽に話せる場にするを目的に、オンライン座談会を開催しました。ZOOMのブレイクアウトルームを使って、地域学校協働本部と放課後子供教室のグループに分かれて行いました。日頃の活動についての情報交換や地域の人材発掘、人材不足、コーディネーターとなる次世代の育成などが話題となりました。「今後もぜひ、このような交流の機会をつかってほしい」という声をいただきました。



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp> **学び未来** で検索

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069

千葉県 地域連携のススメ



第22号 ガイドブックの活用とコミュニティ・スクール（CS）について
2021年10月19日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会

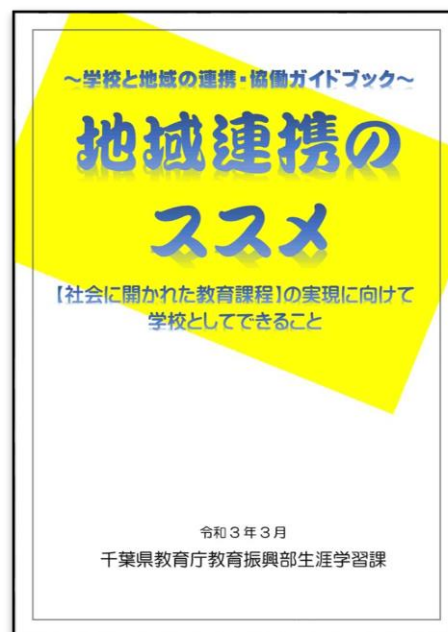
「～学校と地域の連携・協働ガイドブック～ 地域連携のススメ」

千葉県教育委員会では、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて学校としてできることとして、**学校の窓口となる地域連携担当（一般教職員等）の明確化**を推進しています。

地域連携は、地域と学校の実態や学校経営方針を踏まえ、地域と目標を共有して進めていくことが大切です。また、地域の方との連絡調整をしたり、学校内の体制を整えたりする、「学校の窓口」（地域連携担当）を明確にしながら学校全体で計画的に取り組んでいきます。

令和3年3月に市町村教育委員会を通じて配布した「～学校と地域の連携・協働ガイドブック～ 地域連携のススメ」には、「地域連携の意義と効果」「活動の進め方」「組織的・効率的な連携のために」等が示されています。そのまま使える「ボランティア登録申請用紙」や「地域連携全体計画」等の「様式集」もありますので、ぜひご活用ください。

～学校と地域の連携・協働ガイドブック～ 地域連携のススメ→
(様式集)



令和3年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会

9月1日（水）にオンライン（Zoom ウェビナー）により、令和3年度「新・放課後子ども総合プラン」指導スタッフ等研修会を開催しました。主な内容として、こども環境デザイン研究所代表の矢生秀仁先生から「現代における地域教育の可能性と重要性」という演題での御講演と袖ヶ浦市教育委員会生涯学習課から「地域の特色を生かした袖ヶ浦市放課後子供教室の取り組みについて」事例を発表していただきました。



【参加者の声】

<講演について>

・子供たちの「ホッ」とできる存在であり続けたいと再認識すると共に、想像力・経験値の差によって個々の子供に対応する術を今後も模索していきたい強く思いました。

<実践発表について>

・なぎなたや巨大シャボン玉など、魅力的なプログラムをされていて素晴らしいなと思いました。どのような場所でも、工夫次第で楽しい放課後子供教室が開催できることを教えていただきました。



←詳しくは、千葉県教育委員会
「放課後子供教室推進事業」ホームページへ

開かれた学校づくり研修会 オンライン開催（8月25日）

「今、なぜCSなのか」 CSマイスター小西 哲也先生（山口県）

現在、学校を取り巻く諸課題や、子供に求められる力、社会状況等に照らし合わせ、「今、なぜCSなのか」について御講演いただきました。

「地域の方々との関わりは、子供の成長や意識の変化に関係する」「CSを設置した学校では、教職員の意識改革が進む」「高校は社会に出る一手手前の学校だからこそ、社会とのつながりが必要」など、豊富な調査資料等を根拠にCS導入の必要性について御説明いただきました。

「学校運営協議会を活用した取り組みについて」 飯高特別支援学校

地域防災、地域美化、高齢者福祉などの地域課題に関連した取組や飯高コミュニティ・カレンダーの作成、1000か所ミニ集会における工夫について発表していただきました。

「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の実践について」市川市教育委員会

「学校運営協議会の3つの権限について、不安を感じている自治体や学校が多いようですが、全く心配ありません。委員のみなさんは子供たちや地域のためにとっても協力的です。」と、全校でCSを導入している市川市教育委員会の現状についてお話しいただきました。

【参加者の声】 <講演について>

・今回の研修を受けて職員と研修を重ね「なぜ今、コミスクが必要なのか」「なぜ、コミスクなのか」について共通理解を図りながらさらに意義ある教育活動に前進していきたいと思います。「人は人を浴びて人になる」という言葉が心に残りました。

コミュニティ・スクール（CS）導入に向けて

我孫子市立白山中学校区ミニ集会 オンライン開催（8月24日）

コミュニティ・スクール導入に向けて、中学校区（3校）の教職員と地域コーディネーター、保護者がオンラインでつながり、ミニ集会を開催しました。コミュニティ・スクールを導入することにより、それぞれができることについて考え、どのようにいかしていくか発表しました。

県立学校・各市町村教育委員会を訪問させていただいています

令和3年度訪問数【県立】30校 【市町村】18市町（令和3年10月1日現在）
内容：CS導入に向けて、CSと地域学校協働活動（本部）の関係性 等
時間：20～60分程度（御要望に応じます）

↓↓↓ご希望やご質問等については↓↓↓

【問い合わせ先】千葉県教育庁教育振興部生涯学習課
学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069



「コミュニティ・スクールや地域連携協働活動」についてもっと知りたい方は
（文部科学省・厚生労働省合同ホームページ）
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学び未来 で検索



千葉県 地域学校協働活動ボランティアだより

第21号 地域学校協働本部「地域未来塾」

2021年2月9日 発行：千葉県地域学校協働活動推進委員会



千葉県教育委員会では、地域と学校がパートナーとなり、地域全体で子供の成長を支え、地域を創生する「地域学校協働活動」を推進しています。今回は「地域未来塾」と『地域学校協働活動推進』に係る文部科学大臣表彰」を特集していきます。

「地域未来塾」～地域連携のススメ～

地域未来塾とは？

中学生等を対象とした、教員OBや大学生など地域住民等の協力による原則無料の学習支援です。



「茂原市」の取組紹介！

<令和2年度>

対象：全茂原市立中学校在籍3年生（6中学校 673名）

教科：数学

会場：茂原市中央公民館及び茂原市本納公民館

実施期間：令和2年10月3日～令和3年2月20日

毎週土曜日：午前10時～午前12時

登録生徒：22名

登録講師：7名（元教員、学習支援員、一般ボランティア）



参加者の声(令和元年度)

- ・地域未来塾は皆さんが優しく面白い方が多く、教えるのもすごく上手でした。毎週来るのが楽しみで、来るたび数学の楽しさ、おもしろさがわかりました。受験合格をするまでみていただきありがとうございました。
- ・最後の計算問題は分かりやすくて良かったです。
- ・数学の成績が上がりました。本当にありがとうございました。



「地域学校協働活動」についてもっと知りたい方は
(文部科学省・厚生労働省合同ホームページ)
<http://manabi-mirai.mext.go.jp>

学びの未来 で検索

「地域学校協働活動」推進にかかる 文部科学大臣表彰について

この表彰は、幅広い地域住民等の参画により、地域全体で未来を担う子供たちの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）のうち、その内容が他の模範と認められる取組に対し、文部科学大臣が表彰を行うものです。
令和2年度に受賞された3つの活動を御紹介します。



多古高等学校学校運営協議会（県立高校）

高校の魅力アップで存続をめざす。 ～地域で支えるコミュニティスクール～

「生徒指導プロジェクト」の主たる活動は、「朝のあいさつ運動」である。生徒が登校する日は、毎朝行っている。委員だけでなく地域の方や町役場の職員が参加してくださり、あいさつや生徒一人一人に応じた声かけ等が行われている。「朝のあいさつ運動」は、生徒が登校する8時から8時40分まで、毎日校門近くで行われる。元本校職員や元CS委員であった地元の方がボランティアで毎朝参加している。（推薦書より）※CS=コミュニティスクール



<あいさつ運動の風景>

Firstnik☆ふあ～すとにいく☆（市川市）

夏祭りで“つなぐ” 地域の力で子どもたちのために！

「こうのとり祭り」を継続開催する中で、個別の団体同士がつながりを強めていった。統括的な地域学校協働活動推進員を中心に、地域のネットワーク化が図られている。第一中学校で毎年行っている「職場体験」の受け入れ先等を教諭に代わり推進員が担うようになってから、新規の受け入れ先が増え、約200人の生徒が豊かな体験学習を行うことができています。（推薦書より）



<こうのとりまつりの様子>

布佐中学校区地域学校協働本部（我孫子市）

子どもたちの豊かな学びを様々な形で地域がサポート —学習習慣の定着や授業支援から生涯学習の基礎づくりまで—

30数年前より始まった中学校のクラブ活動（茶道・華道・書道・琴・三味線・郷土芸能・柔道等）の地域住民講師による活動を母体として、児童生徒の学びに合わせて学校支援ボランティア活動も多様化し、地域学校協働活動へと発展してきた。また、平成26年度から総合的な学習の時間の小中一貫カリキュラム「郷土学習・ふさカリキュラム」も実施された。（推薦書より）



<地元住民の指導による琴体験>

【問い合わせ先】 千葉県教育庁教育振興部生涯学習課 学校・家庭・地域連携室 TEL:043-223-4069